

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス フタール枚方駅前		R8年5月8日				
		チェック項目		工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2		利用定員に対して必要なスペースは確保しています。今後の利用児童の年齢や体格、活動内容に応じて、空間の使い方や家具配置を調整し、安全かつ快適に過ごせる環境整備に努めていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3		室内環境の特性上、児童の体力発散に関しては活動内容の工夫が必要となるため、プログラムの設定により対応していきます。また、療育室内に柱があるため、事故防止の観点から環境調整および職員の見守り体制の強化を図ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・清潔に保つ努力はしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	5		パーティション等を用いて空間を区切ることは可能ですが、活動内容に応じて更なる工夫が必要と考えています。個別の部屋はありませんが、環境設定を工夫しながら個別対応が行えるよう支援体制の整備に努めていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	4		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・月に一回会議を設定し、意見を交わしたり、業務日報や掲示等で情報共有を図っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1		職員の資質向上を図るため、新人研修や法定研修に加え、法人内においても定期的に研修を実施する体制を整えています。職員が継続的に学べる環境を確保し、支援の質の向上に努めています。
適切か	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2		はい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	3		・今後行う予定。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	3		・今後行う予定。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	4		・今後行う予定。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	4		・今後行う予定。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	3		放課後等デイサービスガイドラインに示されている「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」のねらいを踏まえ、支援計画を作成する体制を整えています。児童の特性や発達段階に応じて支援内容を具体化し、実効性のある支援につなげていくことを重視しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・担当を決め、案を出し合い、事前に共有している。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・活動が固定化しないように月間スケジュールを作成している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	3		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	3		・今後行う予定。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	・職員間で話し合って改善に繋げている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	3	・活動の計画と振り返りを記録し、保管している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	4		・今後行う予定。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	2	4		「4つの基本活動」の考え方をもとに、それぞれの活動を組み合わせた支援が行えるよう準備しています。今後、児童一人ひとりの状況に応じて柔軟に活動を組み合わせながら支援を行っていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	2	4		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	4		関係機関との会議には、児童の状況を理解している職員が参加できるよう体制を整えています。今後、情報共有を行いながら連携した支援の実施に努めていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・体制は作っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	4		・今後行う予定。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4		・今後行う予定。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4		・今後行う予定。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		・今後行いたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	4		・今後行う予定。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	3		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	2		・今後行う予定。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2	4		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2	・体制を作っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		・今後行いたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	3	・体制は作っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・活動予定や内容をSNSで発信している。 ・HUGシステムやLINEで連絡体制を作っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	2		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	2	4	・体験会では、他事業所の児童を招き、体験してもらった。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3		事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対策等に関する各種マニュアルを整備し、職員への周知を行うとともに、必要に応じて保護者への周知も行う体制を整えます。また、発生を想定した訓練についても計画的に実施し、継続的な見直しと改善に努めていきます。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	・防災訓練を月に一回計画し、実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2	4		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	4		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	4		安全計画をもとに、安全管理体制の整備を進めています。今後、研修や訓練を実施するとともに、日常の支援においても安全面に配慮しながら安心して過ごせる環境づくりに努めていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	5		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2		・今後行う予定。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	2			